

課題別研究報告書

# 通常の学級における 障害理解のための ツール開発に関する研究

(平成17年度)



平成18年3月

独立行政法人  
国立特殊教育総合研究所

## 研究にあたって

私たち研究グループのメンバーは、障害のある子どもへの効果的な指導法などについて、各々の分野において研究しています。日々、そのような研究を経る中で、ある共通の課題が生じてきました。それが、「障害理解」というテーマです。特別支援教育が名実ともに定着するには、障害のある子どもへの効果的な支援に関する研究を充実させることは言うまでもありませんが、一方で、彼（彼女）らとともに学び、生活している人々、とりわけ子どもたちへのかかわりにおいても、目を向ける必要があります。このように歩み出した研究ですが、進めば進むほど、とても壮大なテーマであることを痛感しています。本当にめざすべきものは何なのか・・・まだその答えは完全にはみえてきていません。しかし、この研究によって、子どもたちが、近くにいる彼（彼女）らのことを、ほんの少しでも立ち止まって考えるきっかけを提供できたらと思っています。さいごになりましたが、この研究を進めるにあたり、先生方ならびに児童のみなさんに多大なるご協力をいただきました茨城県水戸市立大野小学校に、この場をかりてお礼申し上げます。

## 研究の組織

### <所内研究分担者>（五十音順）

新井 千賀子	企画部	(平成17年9月まで)	
伊藤 由美	教育相談センター	推進班	
植木田 潤	教育相談センター		
大崎 博史	企画部		
海津亜希子	企画部	推進班	
齊藤 宇開	教育支援研究部		
玉木 宗久	教育支援研究部	推進班	
横尾 俊	企画部	推進班	研究代表者
渡邊 正裕	教育研修情報部	推進班	

### <研究協力校>

茨城県水戸市立上大野小学校

## 目次

研究にあたって  
研究体制

第Ⅰ章 問題の所在と目的	1
研究の構成	3
第Ⅱ章 研究Ⅰ	4
第Ⅲ章 研究Ⅱ	13
第Ⅳ章 まとめと今後の課題	17
文献	18

資料